

第231号

社団法人 兵庫県臨床検査技師会
〒651-0085
神戸市中央区八幡通4-1-38
TEL 078-271-0255
FAX 078-271-0256
E-mail hamt@portnet.ne.jp
臨床検査情報センター“Assay”
URL <http://www.hamt.or.jp>

平成21年度(社)兵庫県臨床検査技師会の会務執行に向けて

会長 富永博夫

(社)兵庫県臨床検査技師会は、会員の皆様方をはじめ、多くの関係団体のご理解とご尽力をいただき平成20年度事業を無事終了しました。特に、第48回近畿医学検査学会が成功裏に終了しましたことは関係各位のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、世の中は経済状況や雇用情勢が不安定であり、更に政治不信が重なり混沌としています。医療を取り巻く環境も厳しく、先行き不透明さが増すばかりで、臨床検査技師を取り巻く環境は、更に厳しい時代に突入することが予想されます。

平成21年度は1. 雇用環境の変化。2. 施設の生き残りをかけた合理化策の推進。3. 医療従事者としての臨床検査技師のあり方など、現状を認識しながら問題点を整理します。

法人制度改革に合わせて、臨床検査技師としての社会的使命(=公益性)と技術者としての有益な職業環境(=共益性・職能性)を充分認識し、新法人取得へのステップアップの時と考え、新定款の制定、諸規程、会計基準や組織体系の見直しなど、多くの事務的作業を行わなくてはなりません。これらを踏まえた行動として、次に掲げる公益性・共益性の事業展開を推進し、業務計画・収支計算等に紐付けられた体系的再構築を図ります。

1. 公益活動の推進

- (1) 講演会の開催：県民をはじめ、不特定多数の方々を対象とした情報の提供や国民的活動となっている乳がん撲滅運動、生活習慣病、エイズ撲滅運動、STD関連事業など臨床検査技師としての立場からの応援をします。
- (2) 検査成績の見方：検査情報の提供と検査説明の拡大実行運動の展開。検査にまつわる行為説明や生活習慣病などの指導を目的とした検査説明ができる環境を整えます。
- (3) 検査精度管理事業：臨床検査技師が提供する成績が、常に精度よく、正確でしっかりしたエビデンスに基づいたものであり、それが保障・担保されるものであるための精度管理事業を展開します。
- (4) 広報活動の充実：臨床検査技師の知名度や存在感を高めるために果たさなければならぬのが広報活動です。技師の積極的な公益活動を通じて、仕事の内容や施設での役割について理解していただけるように国民・県民に広報活動を展開します。

2. 共益活動の推進

- (1) 人材育成事業：腹部超音波の技術者養成を始め、スペシャリスト養成に係る研修会の開催など会員ニーズにあった人材育成事業、技術者としての付加価値を高め、認定検査技師資格の取得や生涯教育の履修推進などの卒後教育、人材育成事業を展開します。
- (2) 職能事業：女性会員の離職者・求職者の再教育や再就職支援などを行う事業を展開します。
- (3) 業務安定と職域拡大：医師の業務軽減に臨床検査技師が果たす役割は何か、職域拡大につながる業務は何か、チーム医療の中で臨床検査技師が果たすべき業務は何かなど、研究・調査します。
- (4) 身分制度：臨床検査技師の職種の不安さは身分制度に起因していると思います。業務制限や業務独占など業務にかかる法の整備の不確定さが今に至っていることは過言ではありません。法律について論議し、法改正への行動的推進を図ります。

技師会活動は、公平無私の精神が基本で、大切であります。将来の“臨床検査技師”、“兵庫県臨床検査技師会”の姿を思い浮かべながら、何ができるかを役員一同考えていきたいと思っています。

ご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

日臨技報告

<日臨技第7回理事会（1月24日）：経過報告抜粋>

●監理企画調整部

- ①厚生労働省医政局総務課長より「医療事故情報収集等事業第15回報告書」を受理し日臨技ホームページにアップした。(12/09)
- ②厚生労働省医政局研究開発振興課長より「臨床研究に関する倫理指針質疑応答集(Q&A)」の周知について」を受理し、ホームページへ掲載した。(12/26)
- ③エイズ予防啓発活動<世界エイズデー>として、大型街頭VISIONを使用し啓発映像を11月29日～12月5日(7日間の全会場放映数16,709回)放映した。
- ④環境問題対策総合研修会を平成21年1月10,11日にパシフィコ横浜で開催した。

●事務局

- ①会員数は49,419名(12月末現在)である。未入金者は近畿地区で214名(兵庫県は2名、大阪150名)。全国で1,258名。新入会員は3,110名(12月末現在)
- ②無料職業紹介は1～12月求職者310名・求人581件あるが、決定は16件。

●共済福利厚生部

- ①リンクス・臨床検査技師賠償責任保険加入状況は、2,954名・14,769名である。
- ②岩手県、宮城県技師会から「平成20年岩手・宮城内陸地震」全国義援金贈呈の報告を受けた。また、奈良県技師会より10万円の義援金を地区理事を經由し両技師会に送金した。

●組織制度部

- ①エイズ予防啓発活動<大型街頭VISION 啓発映像放映>にあわせ、「エイズ予防啓発活動」を都道府県技師会に委託し39都道府県技師会の協力の下に開催した。
- ②日臨技共催公益目的事業申請と事業報告を承諾した。
 - ◇ 企画申請：長野県、岐阜県、大阪府(2件)、奈良県、山口県、高知県、沖縄県技師会
 - ◇ 事業報告：北海道、青森県、宮城県、茨城県、埼玉県(2件)、新潟県、京都府、和歌山県(2件)、鳥取県、愛媛県、高知県(4件)技師会

●学術事業部

- ①第13回臨床検査技師実習施設指導者等養成講習会(西地区)(10月16日～18日)が終了した。
- ②平成20年度認定試験を以下のとおり実施した。
 - 1) 認定心電検査技師認定試験
試験日：12月14日(日) 試験会場：日本教育会館(東京都千代田区)
申込者数：120名、受験者数：119名
 - 2) 認定一般検査技師認定試験
試験日：12月21日(日) 試験会場：大森東急イン(東京都大田区)
申込者数：96名、受験者数：94名
 - 3) 認定臨床染色体遺伝子検査技師認定試験
試験日：12月21日(日) 試験会場：当会会館
申込者数：1名、受験者数：1名
- ③日本糖尿病療養指導士認定機構の第1群(糖尿病療養指導研修)単位認定申請を承認した。
 - ◆第10回神奈川県糖尿病療養指導研修会
申請団体：神奈川県糖尿病療養指導研究会
開催日時：平成21年2月1日(日)午前10時45分から午後3時30分
開催会場：川崎市国際交流センター(神奈川県川崎市中原区)
認定単位：1単位

●国際事業部

- ①12月8～9日にフィリピンにおいて開催されたAAMLS Business Meetingに小崎会長と湯浅常務理事が参加した。

②2008年度JICA臨床検査技術研修コース(参加者11名)において、日臨技活動、IFBLS 活動、フォトサーベイの講義を日臨技会館で行った。

<近畿地区連絡協議会(2月28日)>

日臨技役員からそれぞれの担当業務について報告し、近畿技師会役員からの質疑に回答した。

- ・富永副会長から、組織制度部での取り組みとして公益法人制度改革に伴う日臨技定款諸規程検討委員会の進捗状況等の報告
- ・森嶋常務理事から、組織制度部の公益目的事業の概要の報告
- ・中山理事から、学術事業部の認定事業と、eラーニングの試行調査の報告
- ・森嶋常務理事から、学術事業部の学会、研修会、助成研究の報告
- ・田中理事から、精度保障部の精度管理事業、データ標準化事業の報告
- ・湯浅常務理事から、国際事業部の第3回AAMLS学会、JIMTEF委託事業の報告

○日臨技の定款案については、日臨技での討議が終了していないので、公開は出来ないが、総務省モデル定款に沿っているが、地区技師会の意向も考慮しながら検討・作成中である。

○日臨技学会については新方式で進めており、59回が和歌山担当(兵庫県開催)、60回は長野県担当(首都圏開催)で行われる。

○技師会として最重要事業として取り組んでいる精度管理調査を公益事業であると認定してもらうために、どのように公開していけばいいのか？

○全国に通用する基準値設定を日臨技の事業として取り組んでいく。事などが、質疑応答の中で話し合われた。

◆近臨技報告◆

<近臨技第5回理事会(2月28日)報告>

報告事項

①日臨技関係：

- ・第59回日本医学検査学会進捗状況について田中学会長(和歌山)から報告があった。
- ・平成20年度第2回プロモーション近畿地区委員会について、Q/A部分の報告があった。

②近臨技関係：

- ・各府県活動報告(抜粋)

大阪：1月17日大臨技・大放技合同フォーラム、12月13日北支部自由集会、
1月31日中央支部自由集会

兵庫：1月16日新年交礼会

滋賀：12月14日東近江市健康フェア(スパイロ検査)、1月14日保健医療従事者研修会

奈良：1月31日施設代表者会議、2月15日公開講演会(メタボリックシンドロームと病気)

和歌山：1月31日医療安全対策講習会

京都：12月13日北部学術発表会

福井：12月3日臨時総会(一般社団法人への名称変更、会費値上げ)

- ・渉外部から、第4回近畿医療フォーラムの開催について報告があった。
- ・第49回近畿医学検査学会進捗状況について白波瀬実行委員長(京都)から報告があった。
- ・今井会長から大臨技事務所の移転(4月1日から)報告があった。

<新事務所>

移転日：平成21年4月1日(水)

移転先：〒543-0018 大阪市天王寺区空清町8-33

大阪府医師協同組合東館 4階

電話番号：06-6763-5652 FAX番号：06-6763-5653

提案議題

- ・日本臨床検査同学院病理二級試験の協力要請への対応
- ・平成21年度各部事業計画(各部責任者)
- ・平成21年度西アフリカJICA研修事業案(国際部)
- ・近畿医学検査学会参加費について

各局報告

広 報

第36回医療職五団体合同研修会に参加して

2月28日(土) 午後1時30分より、兵庫県看護協会会館ハーモニーホールにおいて第36回医療職五団体合同研修会が兵庫県看護協会の担当で開催された。

まず、医療安全全国共同行動の呼びかけにちやて「いのちをまもるパートナーズ」をテーマとし、神戸大学医学部准教授江原一雅先生による基調講演が行われた。この呼びかけは、2008年から始まった医療の安全確保と質の向上を目的に病院や関係団体が共同で対策に取り組む全国キャンペーンである。同キャンペーンは元々アメリカにおいて「米国10万人のいのちを救えキャンペーン」として2004～06年に展開され、日本では医療の質・安全学会、日本病院団体協議会、日本医師会、日本看護協会など6団体が提案して医療安全全国共同行動(2008年5月～2010年5月)の呼びかけが始まったものである。これには

- | | |
|---------------|------------------|
| (1)危険薬の誤投与防止 | (5)医療機器の安全な操作と管理 |
| (2)周術期肺塞栓症の防止 | (6)急変時の迅速対応 |
| (3)危険手技の安全な実施 | (7)事故要因分析から改善へ |
| (4)医療関連感染症の防止 | (8)患者・市民の医療参加 |

という8つの行動目標があり、参加登録病院はキャンペーン期間中に取り組む行動目標をこの中から選んで実施計画を策定するものである。

続いて、患者代表と医療職五団体の各専門職から5名の会員をシンポジストとして「患者さんとともにつくる医療安全」をテーマに、シンポジウムが開かれた。当会からは、坊池会員が輸血医療をテーマに発表された。医療の安全対策に向けての取り組みの基本として、

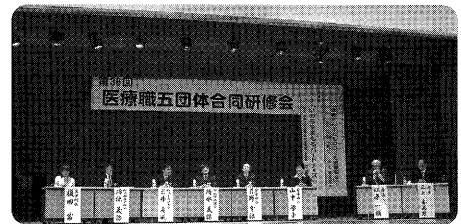
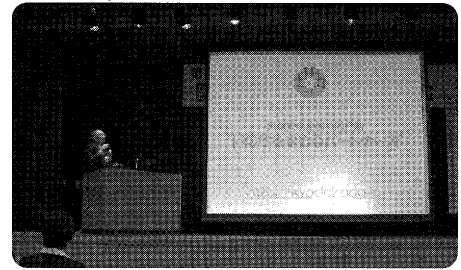
- (1)一定の基準に沿って職種の垣根を越えて
- (2)患者の視点から物事を考える
- (3)医療メディエーター
- (4)もっと話そう・もっと伝えようをキャッチフレーズ
- (5)自己評価から他者評価
- (6)説明不足
- (7)患者からのニアミス報告の継続
- (8)患者の看護計画立案と内容の共有、ウォーキングカンファレンス等の発表があった。

医療の安全管理には、患者からの苦情や相談情報の収集、分析、提言、教訓化をはかり、安全対策システムを構築する必要があり、患者側からみれば信頼関係を作っていくための1つの方法と考えられた。チーム医療についてもそれぞれのスタッフ協力が不可欠であり、そのためには医療技術の向上に努め、医療のシステムや社会情報についても学習し、さらに患者さんや地域の人々から学ぶ姿勢を忘れてはならない。これまで以上に医療従事者としての成長を心がけるだけでなく、医療従事者が互いに研鑽しあう関係を築き、職種や立場を超えた医療界の一致協力が重要である。相次ぐ医療事故によって、医療に対する信頼が大きく揺らいでいるが、医療を取り巻く環境の中で患者本位の医療の質と安全を実現するためには、患者・市民等地域社会の支援も不可欠であることも付け加えたい。

今後、医療過程で生じる有害現象を可能な限り低減させる取り組みが進められ、信頼される医療の確保を実現することを願うものである。

最後に、一般市民参加の講演会でもあり、兵臨技は臨床検査に関する相談コーナーと、臨床検査技師の仕事内容を検査ごとにまとめたポスターの展示を行った。

(文責 山本 格士)



平成20年度東播地区施設責任者・連絡者会議

3月7日（土）に生石研修センターにて上記会議が開催されました。

技師会役員（会長、副会長、事務局長、各部長）と東播地区13施設の施設責任者とが意見交換を行い、技師会への要望や希望などを伺いました。

役員から、日臨技については、公益事業活動や精度管理事業、認定事業について報告しました。近臨技については日臨技支部化としてどのように事業展開（学会・研修会など）を図っていくのか、第49回近畿医学検査学会は京都市で11月に開催されることなどを報告しました。兵臨技について、3月20日の第1回総会、表彰式、公益法人化に対する兵臨技の対応についての意見交換会への出席のお願い、6月28日の第2回総会、兵庫県医学検査学会への演題応募をお願いしました。

意見交換では、人事について需要と供給関係が以前と変化していることが挙げられ、職員募集しても応募が少ないこと、採用試験に合格しても断る応募者がいることなど、採用時の問題や、後進が入ってこないための技術の伝承が滞る問題などや、病床数に応じた検査技師定数が明文化されていないので、職員補充に際して困っていること、補充の理由づけには仕事量を数値化して事務サイドにアピールすることが重要であること、などが話し合われました。また、認定に関しては、他団体（他学会）に委ねることなく技師会自らが認定をするべきであるとの富永会長の持論も展開され、技師の技術レベルについても考えさせられる意見交換会でした。

出席施設：県立加古川、加古川市民、高砂市民、甲南加古川、加古川総合保健、小野市民、西脇市民、三木市民、ときわ、北条田仲、加東市民、田畑胃腸、三木山陽

求人情報

求人先：(医・社)林産婦人科

交通：山陽電車月見山駅下車 徒歩3分

採用条件：正社員 平成21年2月～

採用人数：1名 年令：30歳まで

勤務時間：平日 9:00～17:00

木・土 9:00～12:30

勤務内容：超音波、一般検査

連絡先：078-731-0730 内線121（林）

備考：女性の方

求人先：(医・財)中馬病院

交通：阪神神戸線尼崎駅下車 徒歩5分

採用条件：正社員

採用人数：1名 年令：不問

勤務時間：平日 9:00～17:00

土曜日 9:00～12:00

勤務内容：健診センター及び臨床検査室

連絡先：06-6411-6081（事務次長 杉本）

備考：できれば健診業務経験者

求人先：こはや脳神経外科クリニック

交通：JR垂水駅下車 徒歩3分

採用条件：臨時職員

採用人数：1名 年令：不問

勤務時間：平日 8:30～12:30

15:30～19:30

水・土 8:30～12:30（応相談）

勤務内容：6月開業の当院における頸部血管エコー
脳波検査等

連絡先：080-3773-6622（小早）

求人先：公立豊岡病院

交通：山陰本線豊岡駅下車 バス10分

採用条件：臨時職員 平成21年3月～3月末

更新予定有り

採用人数：1名 年令：不問

勤務時間：平日 8:30～17:15

勤務内容：検査全般

連絡先：0796-22-6111 内線2202

（職員係 河邊）

求人先：(財)順天厚生事業団

交通：JR神戸駅下車 徒歩8分

採用条件：正社員

採用人数：1名 年令：40歳位迄

勤務時間：平日 9:00～18:00

勤務内容：施設内健康診断、VDT、肺機能検査、
振動検査、エコー（腹部・乳腺）
健診結果処理（PC入力等）

連絡先：078-341-7114（総務課 西川）

求人先：兵庫県病院局管理課

交通：勤務先による

採用条件：臨時職員

平成21年4月～22年3月（12か月）

更新の可能性有り

採用人数：若干名 年令：不問

勤務時間：平日 8:45～15:45

勤務内容：県立病院での臨床検査等の業務
（自動分析測定、尿検査等の定型的業務）

連絡先：078-341-7711 内線3458（職員係 高見）